

集落の日常を観光化する

伝泊と まちづくり



ご予約・お問い合わせはホームページまたは
メール、お電話にてお願い致します。

<https://den-paku.com>
amami@den-paku.com
TEL.0997-63-1910



運 営

奄美イノベーション株式会社

〒894-0511 鹿児島県奄美市笠利町里50-2

奄美の温かい心と
美しい自然に包まれて

豊かな森と美しい海に恵まれた、
世界自然遺産の奄美。今なお手つか
ずの大自然が残り、昔ながらの伝統
が息づくこの土地に足を踏み入れる
と、誰もが故郷に帰ってきたよう
な、懐かしく温かい気持ちに包まれ
ることでしょう。

私たちは、島の人びとが大切に護
り続けてきた集落文化や自然を未来
へ伝えていきたいという想いで、奄
美大島、加計呂麻島、徳之島の三島
で、宿泊施設「伝泊」ならびに高齢者
施設や飲食店などを含む複合施設
「まーぐん広場」でまちづくりをス
タートしました。

「伝泊」の「伝」は、島の「伝統」伝
説」を伝えるということ、「まーぐん
広場」とは、みんながいっしょに集
える場所という意味です。

奄美群島には、「シマ」と呼ばれる
360以上の集落があり、方言や島
唄などそれぞれの「シマ」には少し
づつ異なった独特の文化が昔から息づ
いています。その「シマ」の個性や繁
栄、文化を担ってきた集落住民は
「奄美の宝」です。

集落住民と観光客が交わる場や機
会を提供し、奄美の魅力を双方に発
見するきっかけをつくることができ
たなら。

集落住民といっしょに「シマ」を元
気にしながら、島の伝統を継承し、
次世代へつなぐ奄美の未来を見据え
たまちづくりを目指します。



ウェルネス体験

集落住民との交流や、大自然の中での宿泊を通じて、心も体もリラックスさせながら滞在を楽しむことができます。



集落見学

都会や他の地域にはない奄美の集落独自の生活風景や歴史を体験していただけます。



伝統文化体験

泥染めや島唄など、奄美ならではの伝統に触れることができます。



自然体験

世界自然遺産に登録された奄美の大自然や生物を満喫していただけます。



観光客

集落文化、人、自然、伝統など奄美ならではの魅力を、島に暮らすように宿泊しながら体験することができます。

3つの宿泊施設「伝泊」



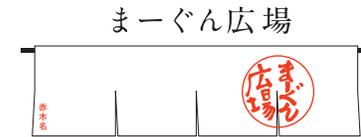
宿泊施設「伝泊」と、集落住民と観光客が集う「まーぐん広場」で地域のコミュニティを作ります。それは、伝統の継承と人の交流を活性化することでつくられる「新しい集落のかたち」です。

「伝泊」とは、まちをつくること。



交流

介護



食材

地元の生産者

奄美ならではの食材を食堂へ提供。島の暮らしに根付いた伝統料理を楽しむことができます。

地元の旬の食材を提供します。



地元の生産者

食材

通勤

従業員用シェアハウス

集落の空き家を活用したシェアハウス型の寮です。島外からの従業員の雇用を促進し、島に新しい風を呼び込みます。

食堂、ショップ、広場、高齢者施設を使用する子どもたちからおじ・おばまで、集落住民も日常的に使用している風景が見られます。

集落住民



奄美ならではの植物や伝統工芸、技術を活かした地元アーティストの作品を多数取り扱っています。



地元アーティスト

作品

島人も旅人も、
みんないっしょに



地域交流の拠点

「まーぐん広場」の歴史



改修前の「まーぐん広場」
以前奄美市民に愛された「スーパーさと」

2009年、ドイツ中西部に位置するベートルに行ったことが、まちづくりをスタートするきっかけでした。障がい者が人口の約4割で、健常者も非健常者も分け隔てなく生活している街・ベートルでは、当たり前のように何処でも障がい者や高齢者が働いています。特別ではない、そんなベートルの街の姿に感銘を受けました。私たちの「理想」の姿がここにありました。

2014年以降、高齢者・障がい者を中心としたまちづくりの研究を積み重ねながら、奄美の介護や医療の現状を知ること、奄美でのまちづくりの実践の思いが膨らみました。

そして、2018年集落住民に愛された伝説のスーパーマーケットを改修し、食堂やショップ、高齢者施設などを併設した複合施設「まーぐん広場」をオープンしました。

集落住民も観光客も楽しめる多様性にあふれた交流の場として、再び集落のシンボルとなっています。

食

島の暮らしを食べて感じる
シマのみんなの食堂



「まーぐん広場」では、奄美の暮らしの中で食べられる島料理を提供する「まーぐん食堂」の運営を行っています。

奄美には、圧倒的な自然の中で力強く育つ食材や、琉球や薩摩など歴史的影響および気候風土・慣習から生み出された油ゾーメンや魚みそなど独自の食文化が存在します。

「まーぐん食堂」では、そうした奄美ならではの魅力を料理を通じて発信するとともに、「シマのみんなの食堂」として、集落住民、観光客が「食」を通じて交流するきっかけを提供しています。

また、料理の食材として、有機栽培農家の野菜や果物、漁師直送の海産物などを使用し、地産地消にも取り組んでいます。

「奄美のご飯って、おいしいね」の言葉と笑顔であふれる空間づくりに取り組んでいます。



寄添

高齢者の人生に寄り添い
島の宝を大切に



「まーぐん広場」1階の広場奥では、高齢者施設の運営を行っています。利用者である島のおじ・おばがこれまでに経験してきたことは、奄美にとってかけがえのない宝物です。一人ひとりの人生を尊重し、それぞれにある個性や現状に寄り添う施設のあり方を目指しながら、おじ・おばの経験や知識を享受し、島の文化や暮らしを未来につないでいきます。

○訪問介護

Home-care ㄋㄆㄏ

○地域密着型通所介護 いのべ赤木名

○住宅型有料老人ホーム 赤木名の家

3つのサービスを組み合わせ、高齢者の人生に寄り添う介護に取り組んでいます。



奄美産マーケット

奄美の自然の恵みをぎっしり集めた市場



「まーぐん広場」1階にある「奄美産マーケット」では、奄美群島ならではの特産品や作品の展示・販売を行っています。

特産品には、島のおじ・おば手作りのお菓子や地元で自家焙煎されたコーヒーなど、島の温かさを感じる品々が並びます。また、併設のギャラリーコーナーでは、奄美の自然を表現した絵画や奄美の木々や土を材料にしてつくられる器・陶芸、テキスタイルといった様々な地元作家の作品を取り揃えています。奄美に根ざした品物を取り扱うことで、観光客と地元の架け橋として奄美の魅力を発信しています。



イベント

集う 賑わう
体験と交流を生み出す
みんなの広場



「まーぐん広場」1階の広場・共用スペースでは、定期的に奄美の独特な歴史・文化を体験できるイベントや、地域の催しを行っています。

島唄や音楽ライブのコンサート会場、集落一行で行われるフリーマーケットや行事の会場など。子どもたち、高齢者、観光客、みんながいっしょに楽しめる多様な場として、幅広い種類のイベントを開催しています。

中央のステージの床材には、日本の伝統技法・なぐり加工が使用されています。足に優しいつくりで、ステージとしての利用の他、子どもたちや高齢者の憩いの場にもなっています。

スーパーマーケットだった頃に多くの人びとで賑わっていた様子が垣間見える、集落に愛される温かな空間です。



島の「自然」と対話する宿

宿泊施設の中で、唯一の新築の宿「伝泊 The Beachfront MIJORA」が提供するのは、「建築」と「自然」の交わり。一面のガラス窓越しに広がる美しい海に溶け込む感覚を通じて、日常の喧騒を忘れ、心をほぐす宿泊体験をお届けします。伝統にモダン要素を加えた空間は、奄美の新しい伝統になるかもしれません。

「2 waters」は、レストラン&バー、屋外インフィニティプール、そして宿泊レセプションなどを含む複合施設です。宿泊施設「伝泊 The Beachfront MIJORA」に隣接しており、宿泊以外の機能を補完する存在として、宿泊客の心と体を癒やします。

ランドリー併設の「伝泊 奄美 ホテル」別棟「伝泊 フレンドリー」は、元々は集落住民から愛されていたカラオケボックスを改修した施設。リーズナブルな宿泊施設、社員寮、リネン庫を備えており、観光客、集落住民、スタッフなど多様な人に使用される場所です。

伝泊 The Beachfront MIJORA



島の「とき」と対話する宿

一軒一軒が異なる集落に点在しており、まるで「シマ」(集落)で暮らしているかのような滞在を楽しめる「伝泊 古民家」。集落や行政から空き家問題解決の相談を受けたことがきっかけとなり、築50年以上もの南国特有の伝統的な建築構法をもつ空き家を再生し、観光客の滞在を通じて建物を維持・継承すること、宿がある集落の文化を保存・継承することを目指しています。

島の「ひと」と対話する宿

シマよりそうホテル「伝泊 奄美 ホテル」は、赤木名集落の中心に位置する「まーぐん広場」2階にあります。天井が高く、風通しのいい9室の部屋での時間や、1階にある食堂、ショップ、高齢者施設との出会いや体験は、まるで集落のタウンホールに泊まっているさま。観光客は、集落に暮らす人たちとの対話を楽しみながら滞在をすることができます。

伝泊 古民家



伝泊 奄美 ホテル



宿泊施設「伝泊」

「伝統」「伝説」を継承し、未来に伝えていくために3種類の宿泊施設「伝泊」があります。

体験プログラム

「伝泊」では、奄美の集落文化や日常を保存・継承する取り組みの一つとして、体験プログラムの開発・提供に取り組んでいます。提供するの

は「島っちゅ」である集落住民。

観光客のニーズに合わせながら、集落住民が持っている個性を活かし、

伝統行事や遊びや文化体験、自然体験など50種類以上のプログラムを用意しています。

島の人びとが紡いできた暮らしの知恵や風習、手付かずの大自然を、「島っちゅ」といっしょにお楽しみいただけます。



八月踊り

毎年旧暦の八月に各集落で行われる奄美の伝統文化八月踊り。踊りの唄声や掛け声、太鼓・指笛の音が響き渡る夜を、集落住民といっしょになつて特別な島時間を過ごす一大体験です。

ナンコ遊び

ナンコ遊びは奄美に古くから伝わる酒席での遊びの一つ。一対一で向かい合い、相手が握っている棒の数を当て合います。心理戦で勝ちを競い合う、熱気あふれる伝統的なゲームです。

島料理づくり

島で日常的に食べられる暮らしの味を、集落のお話が教えてくれる料理体験です。琉球や薩摩の影響を受けて独自に発展した奄美の食文化や、温かみあふれる島っちゅとの出会いを楽しめます。

糸線から機織り体験

世界三大織物「大島紬」の製造工程の花形である「機織り」。熟練の織工の島っちゅの指導のもと、日本が世界に誇る奄美のきめ細かい手織りの技を、間近で体験することが出来ます。



泥染め体験

奄美に自生する車輪梅という木のチップを煮出した染料と泥を使用した世界唯一の染めを体験できます。

黒糖づくり

奄美の大地で元気に育ったサトウキビを、昔ながらの方法で搾り、煮詰めて黒糖をつくる体験です。

島唄体験

島ユムタ方言での話を交えて、聴いたり習ったり踊ったりしながら、島唄を楽しめる体験です。

たんかん収穫体験

集落のおじが、タンカンのとり方、美味しい食べ方、豆知識などを教えてくれる冬の奄美ならではの体験です。



集落案内

集落の歴史や昔話、島の暮らしについて、集落に暮らすおじの案内を聞きながら集落散策を楽しむ体験です。

星巡り撮影ツアー

晴れた夜空に輝く満点の星空を眺めたり、星空をバックにポートレート撮影したり。星を満喫する体験です。

サトウキビ風呂体験

サトウキビの搾り汁を煮詰める際の余熱を活かしたキビ風呂は、野趣あふれる季節限定の体験です。

馬牧場ふれあい体験

希少な在来馬・トカラ馬のいるあやまる牧場で、かわいミニチュアホースとふれあいを楽しめます。



はちみつ収穫体験

みつばちが、色々な花から蜜を集めた、奄美ならではの香り豊かなはちみつを収穫することが出来ます。

ビーチクリーニング

伝泊のスタッフや集落住民と交流しながら、漂着ごみを拾い、奄美の海をより美しくする体験です。

金作原散策体験

奄美大島に多数生息している珍しい動植物がいる、亜熱帯の金作原の森をガイドと一緒に散策する体験です。

塩づくり体験

海水を薪で炊く昔ながらの製法でつくる工房の塩づくり体験は、旅の特別な思い出になること間違いなしです。

©rito-life

伝泊として取り組むSDGsのコンセプト

人や自然の全てのものが存在の意味を持っている。小さな集落や様々な地域の声、土や植物などの声に寄り添い、実践していくことで「誰一人、何一つ取り残さない社会」の実現を目指しています。



1 「まーぐん広場」

- 高齢者施設(有料老人ホーム・デイケア・訪問看護)の運営
- 地域と連携した社会福祉のイベント、ワークショップの開催
- 子どもたちの学童・塾の実施と障がい者支援施設として準備
- 観光客と集落住民の交流の場となる地域食堂とホテルの運営



2 「伝泊 古民家」

- 伝統的空き家を利用した地域交流の場となる宿泊施設の提供
- 集落住民と自然を中心にした体験プログラムの企画と運営
- 宿泊施設のあるそれぞれの集落住民の雇用促進と地域連携



3 「伝泊 The Beachfront MIJORA」

- 集落住民と連携した海岸線の保全とビーチの定期的な清掃
- 高付加価値な宿泊施設による経済的持続性の実現と展開
- 地元食材による食の提供とコンポストを利用した畑の運用



4 国際認証取得を目指して

- 世界自然遺産の場所として、世界基準の認証取得の促進
- 持続可能な観光推進のモデルケースとして全国への発信
- 来季以降のインバウンドを取り込むための準備と推進
- 認証取得による宿泊客、集落住民、関係者のSDGs促進



ウェルネス・サポート

ウェルネス・サポートとは、医療従事者によるまちづくりを推進するため、「伝泊×ウェルネス.M×JAL」の連携で行っているプロジェクトです。医療従事者や集落住民のウェルネス向上及び離島の医療不足解決などを目指し、賛同企業との連携や「食」や「香り」による癒しの提供を進め、地域の健康増進と医療サービスの向上へ貢献していきます。



RPAP ルパップ

RPAP (Regional Plants×Art×Potの略称)は、地域固有の植物と新しい視点の器を、アートというフィルターを介してオリジナルかつ高付加価値な商品として開発・販売します。昔ながらの奄美の甕(かめ)やアーティスト作品と島の植物を掛け合わせることで新たな魅力を引き出し、奄美に経済効果を生み出すことと豊かな自然の発信・継承を担うまちづくりの一環です。

伝泊のこれから

人間の体を構成しているのが37兆個の「細胞」であるように、地球上の伝統および文化を担っている単位は「集落」です。細胞と同じように、集落がネットワークを組むことで都市や国になり、外部の情報が入ることによって健全なコミュニティとなります。持続可能な社会を築くためには、集落の特色を充実させ展開することが重要であると考え、私たちはまちづくりに取り組んでいます。

2020年から日本全国に展開を進める「伝泊」。初回事例である「伝泊 小松」(石川県)では、「伝統工芸・空間」と「里山の食文化」を発信し、観光客・集落住民が集うコミュニティをつくる地域活性を目指しています。また、他企業とともに取り組むパッケージツアーや体験、分析システムの構築、培ってきたノウハウの提供など、日々新しいまちづくりのあり方を模索しています。

私たちの生きている21世紀は、人間が自然に寄り添う転換期だと考えています。「経済中心」の社会から、「社会貢献」「地球環境への配慮」が重視される社会へ変化する中、伝泊にできることはなにか。自然、素材、時間、集落、文化などから聴こえる小さな声に寄り添いながら、「誰一人、何一つ取り残さない社会」を目指していきます。

建築家 **山下保博**



「伝泊」は、奄美群島のうち三島(奄美大島、加計呂麻島、徳之島)に宿泊施設・複合施設を展開しています。さらに集落を元気にできるよう地域の声を聴きながら、集落住民と共に、様々な取り組みに挑戦しています。



地元の学校といっしょに、島の子どもの成長につながる授業や活動に取り組んでいます。



地元農家から有機栽培の野菜の仕入れを行い、自社運営の飲食店で提供しています。



「伝泊」のまちづくりと集落の活性化